

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2009年9月 検針分 )

弊社は新しい原料費調整制度を導入することを主な内容とする供給約款および選択約款の変更を九州経済産業局長へ届出いたしました。

新しい原料費調整制度は、本年9月検針分から、料金適用月の5～3ヵ月前の平均原料価格を毎月の料金に反映させる制度となりました。

これにより平成21年9月検針分の従量料金単価は、平成21年7月、8月検針分に比べ、 $1\text{m}^3$ (46.1MJ)当り12.3816円(消費税込)の値下がりとなります。

### ●従量料金単価

(消費税込)

	単位	2009年7月 ～ 2009年8月 (A)	(B) 2009年9月	(B)-(A)
A料金表 ( $0\text{m}^3 \sim 24\text{m}^3$ )	円/ $\text{m}^3$	225.0844	212.7028	-12.3816
B料金表 ( $24\text{m}^3$ を超える)	円/ $\text{m}^3$	167.7334	155.3518	-12.3816

従量料金単価 = 基準単位料金 + 調整額

### ●平均原料価格

	単位	2009年1月 ～ 2009年3月	2009年4月 ～ 2009年6月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	52,990	38,610	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	42,520	43,520	
平均原料価格	円/トン	52,620	39,060	48,740

平均原料価格 = LNG平均価格  $\times$  0.9471 + LPG平均価格  $\times$  0.0573

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が77,980円以上となった場合は77,980円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

= 39,060 - 48,740 = **-9,600** 円/トン (100円未満端数切捨て)

### ●調整額の算定について

調整額 = 0.088円  $\times$  原料価格変動額 / 100円  $\times$  (1 + 消費税率)

= 0.088円  $\times$  ( **-9,600** ) / 100円  $\times$  (1 + 0.05) = **-8.8704** 円/ $\text{m}^3$

(小数点第5位以下端数切捨て)

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量( $\text{m}^3$ )	2009年7月 ～ 2009年8月 (A)	(B) 2009年9月	影響額 (B)-(A)
32	7,463	7,067	-396